

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第五十八期一般幹部候補生部内課程の卒業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

卒業生の皆様、そして御臨席の御家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。卒業生の皆様の、規律正しく、凜とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた日々は、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。

そして、西山学校長を始めとする、学校関係者の皆様におかれましては、立派に成長された自衛官が江田島の地を巣立つ姿に、感慨もひとしおのことと、お察しいたします。

さて、我が国周辺に目を向けますと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化や中国軍による領海侵入など、我が国を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増しております。日本の防衛を担う自衛隊の役割は極めて重要であり、自衛隊の皆様への国民の期待は、今後益々大きなものになることが予想されます。

本日、卒業される皆様方におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ、幹部候補生学校で学ばれたことを糧とし、強固な使命感を持った立派な指揮官として、国民からの期待や負託にしっかりと応えていただきたいと、心から願っております。

皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、明治の時代に海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えして以降、長きに渡り、海上自衛隊の皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

三百六十五日、昼夜を問わず、国家国民のために精進をするという、崇高な使命を担われる自衛官の皆様に対し、私達江田島市民は、心から敬意を抱いております。

御卒業の皆様におかれましても、ここ江田島市で仲間とともに過ごした日々を忘れず、そして「心のふるさと」として、折にふれ、思い出していただけたら、幸いに存じます。そして、再び訪れていただいた際には、市民一同、心より歓迎申し上げます。

いつの日か再び皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

令和七年二月十四日

江田島市長 土 手 三 生